



イギリス

スマート家電購入は本当にスマートか？

● Which? ホームページ

<https://press.which.co.uk/whichpressreleases/a-fridge-too-far-the-smart-appliances-that-cost-a-grand-more-but-may-only-last-two-years/>

スマホで冷蔵庫の中身を確認する、不具合を自動で修理担当に通知するなど、スマート家電は便利だが、高額だ。通常の製品より食洗機で平均259ポンド(約34,000円)、冷蔵庫で平均855ポンド(約113,000円)も高い。しかも、ソフトウェアやセキュリティの更新がなければ便利機能を失ううえに、所有者の個人情報がネットワーク上に公開されハッカーの攻撃にさらされる危険性もある。

Which?はこのほど、スマート家電のソフトウェアやセキュリティの定期的な更新情報を、販売後どの程度の期間提供しサポートするかを各メーカーに尋ねた。その結果、多くのメーカーは「製品寿命まで」などと回答し、それが何年であるかは明言を避けた。「最低2年」というメーカーもあった。「10年サポート」をうたう1社は、その対象製品は同社の最高級

銘柄限定であった。

Which?の調査によると、家電製品の買い替え時期は、食洗機や洗濯機で約10年後、冷凍冷蔵庫や衣類乾燥機では約11年後という。また、約7割の回答者が、スマート家電も同様の年限は使用できるものと期待している。多くの製品はネット接続がなくても製品自体としては機能するが、スマート機能を失うことで消費者権利法に規定された目的適合性などの消費者の権利が損なわれるとWhich?は指摘する。

製品販売に関する新EU指令では、メーカーは更新情報を提供する期間を事前に明示する必要がある。イギリス政府による同様の規制導入が計画段階であることから、Which?は、性急にスマート家電に飛びつくより、信頼性も高く圧倒的に安い非スマート家電を購入するほうが賢明としている。



オーストラリア

困難な時に支援をした企業に称賛を

● CHOICE ホームページ

<https://www.choice.com.au/shopping/consumer-rights-and-advice/your-rights/articles/shiny-awards-winners>

オーストラリアでは大規模な森林火災が終息したのもつかの間、新型コロナウイルスの影響による企業の倒産や労働者の失業など、消費者も企業も深刻な経済的困難に直面している。この状況に便乗して不当な買い占めや値上げなどが横行するなか、消費者やコミュニティーを真に支援した企業や組織を周知しようと、CHOICE(オーストラリア消費者協会)は5月、新たにシャイニー賞(輝く賞)の開始を発表した。不誠実な企業活動を糾弾するシヨンキー賞*で知られるCHOICEであるが、このような困難な時期にこそ、社会の一員として望ましい行動が企業に求められる新しいあり方だという。

同賞にふさわしい店や企業の推薦を会員に募ったところ、全国から700件以上寄せられ、このほど受賞者が発表された。全国規模の企業・組織では、

NRMA(全国道路ドライバー協会)とグレーター銀行が受賞。NRMAは医療従事者へレンタカーの無償提供、提携ホテルの宿泊割引、自主隔離者や高齢者への訪問・食事配達などを行った。グレーター銀行は、経済的困窮者のクレジットカードの返済と利払いを半年間猶予すると発表した。地方の中小ホテル、レストラン、デリなど4社は、ホームレスや失業者、奮闘する病院関係者、足止めされている旅行者たちに無料の食事を提供したとして受賞した。また、地元のスーパーや小規模店舗などの弱者に配慮した営業時間、一人暮らしの高齢者への必要物資配達サービスなどに対する感謝の声が多かった。

多くの方はコミュニティーに根差した企業活動で命が救われたことを忘れず、将来的には企業の利益に還元されるはずだとCHOICEはいう。

* ウェブ版「国民生活」2019年12月号「海外ニュース」参照 http://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201912_09.pdf

オーストリア

竹素材を強調するメラミン樹脂食器にも注意!

- VKI「消費者」2020年7月号 <https://vki.at/test-kindergeschirr-aus-melamin-und-bambus-72020>
- オーストリア保健・食品安全局ホームページ <https://www.ages.at/themen/rueckstaende-kontaminanten/melamin/>

軽くて丈夫で、絵柄も鮮やかだとして、小さな子どものいる家庭で人気のメラミン樹脂食器。数年前より、メラミン樹脂に竹繊維(バンブーフाइバー)を加えた商品も出回っているが、外見的には通常のメラミン樹脂食器と区別しにくい*。VKI(オーストリア消費者情報協会)は、子ども用メラミン樹脂食器9商品(そのうち5商品は竹繊維入り)を対象に、有害物質の溶出や丈夫さ等をテストした。

その結果、すべての商品からメラミンとホルムアルデヒドが多量に溶出し、中には許容値の100倍以上のメラミンが溶出した商品もあったという。同協会によると、熱を加えたり、酸と接触することでメラミンとホルムアルデヒドが溶出するという。そこで、熱い粥^{かゆ}や茶、カットした果物、ジュース用の

食器としては不適切であると助言する。また、電子レンジで温めることも避けるべきだとする。

同協会は、宣伝方法の問題点も指摘する。竹繊維の割合が低く、主原料はメラミン樹脂であっても、「再生可能な竹を原料とするので、環境にやさしい」など、エコを強調する宣伝が目立つという。

さらに、丈夫で壊れにくいイメージがあることから、メラミン樹脂食器を選ぶ家庭が多いが、丈夫さは証明できなかったという。テーブルの高さから床に落下させるテストを行ったところ、ほとんどの商品にひび割れが発生したとのことである。

同協会は、子どもの健康や環境に配慮するなら、メラミン樹脂食器にも、竹繊維含有のメラミン樹脂食器にも、手を出さないよう助言する。

- * ウェブ版「国民生活」2018年2月号「海外ニュース」参照 http://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201802_08.pdf

ドイツ

パンに何を塗って食べますか?

- 商品テスト財団「テスト」2020年6月号 <https://www.test.de/Veggie-Brotaufstriche-im-Test-Viel-Gutes-aus-Linsen-Pilzen-Paprika-und-Tomaten-5613562-0/>

ドイツの朝は、バターとジャムを塗ったパン、牛乳やヨーグルトをかけたミューズリーに始まる。火を使わない「冷たい食事」が多いのは夕食も同じで、スライスしたハムとチーズをパンにのせて食べる。

このようななか、3年ほど前から、パンのお供として売り上げが激増している加工食品がある。野菜、豆、キノコ等を使ったペースト類で、約340商品が流通しているという。肉・ソーセージ、魚を食べないベジタリアン(菜食主義者)はもちろん、乳製品、卵、蜂蜜等を口にしないビーガン(完全菜食主義者)*にも対応しているのが特徴である。そこで、商品テスト財団は、トマト、パプリカ、レンズ豆、キノコをベースとする有機表示のペースト類25商品の味、有害物質の有無、表示等をテストした。

その結果、香料を加えた商品はなく、添加物もほとんど使っていないにもかかわらず、味・香りがよいと評価された商品が大部分だったという。ビーガン対応と宣伝するだけあって、動物素材が検出された商品は皆無だった。最も多用されている油脂はひまわり油で、植物性たんぱく質を摂取できるように、ひまわりの種を加えた商品も目立った。

しかし、2商品からニッケルが、1商品から鉛が検出されたため、これら3商品の食べ過ぎには注意するよう助言する。また、平均的なソーセージペーストよりも高脂肪・高カロリーの商品もあり、植物素材であっても低脂肪・低カロリーとは限らないことが分かった。さらに、宣伝で強調する野菜の含有割合が、実際には極端に少ない商品もあったという。

- * ウェブ版「国民生活」2016年3月号「海外ニュース」参照 https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11436742/www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201603_09.pdf